

TOKUDEN

「はたらき」を化学する

人と地球の未来に役立つ、夢あふれる化学品を生み出したい。

もっと快適に、もっと地球にやさしく…

パフォーマンス・ケミカルス
その想いを胸に「はたらきの化学品」を開発し続けています。

今より、もっと素敵な明日をみつめて、チャレンジを続けます。



本社 / TEL 605-0995 京都市東山区一橋野本町11-1
http://www.sanyo-chemical.co.jp/

「はたらき」を化学する
三洋化成
工業株式会社

過熱蒸気発生装置

UPSS

最高 700°C の
過熱蒸気の発生が可能です。

※ノズル配管 1200°C でさらに高温蒸気発生も可能



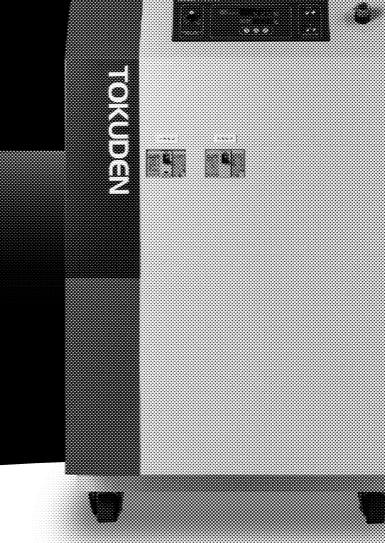
高温過熱蒸気

高い熱効率

大幅な低コスト

簡単なメンテナンス

クリーンで操作も簡単



Y型変形巻鉄心

特殊円形巻鉄心

導体

変圧器構造を利用した
加熱方式で大幅な
低成本を実現。
熱効率 95%以上で
省エネにも貢献します。

TOKUDEN独自製法による特殊円形巻鉄心。
同じ断面積では外周長が最も短くなることから電線長
も最短となり、省エネかつ省資源を実現します。



トクデン株式会社

http://www.tokuden.com

本社・工場 T607-8345 京都市山科区西野瀬宮町40番地(山科郵便局私書箱6号)
京都営業課 T607-8345 京都市山科区西野瀬宮町40番地(山科郵便局私書箱6号)
東京営業所 T101-0041 東京都江戸川区神田須田町1丁目26(芝信神田ビル5F)
マキノ工場 T520-1834 滋賀県高島市マキノ町久保87
TEL:(075)581-2111(代) FAX:(075)1592-1944
TEL:(075)581-5691 FAX:(075)581-1596
TEL:(03)3252-7251(代) FAX:(03)3258-0347
TEL:(0740)27-2111(代) FAX:(0740)27-1839

魁半導体は京都ト芸織維
大学発ベンチャーでもあり
、産学連携には積極
姿勢で臨んでいます。
でも今最も注目されて
いるのが、プラズマの
リチウムイオン電池へ
の応用だ。滋賀県立大
学の酒井道教授(当時)
は京都大学大学院准教
授との産学連携で開
発した。プラズマを大面积
で混合させ、高純度
な材料で電極が作れるため
な電極性の高い電池ができ
ます。今後売上高は
10億円と大台を目指す。

需要は化粧品や医薬など幅
広く関心が寄せられて
いる。プラスチックは着実に
充実している。大気圧
や真空など発生環境、
研究室や試作、ロール
ソーラー式搬送装置
など量産など処理規模
に応じてさまざま。今
春に攻めの組織へと機
構改革、積極展開して
いく。国内にとどまら
ず、今秋には本格的に
海外展開に乗り出す計
画だ。5年後売上高は

「チコン」は高い競争力を
持つ高精度電源を研究機関
などに供給している。
理化学研究所などが開
発したX線自由電子レ
イザ(XFEL)施
設「SACLA(さく
ら)」向けには、高電
圧充電器を納入。これ
は誤差範囲が±0.01%
と超高精度な充電
器でSACLAの安
定動作に貢献してい
る。マイクロ波を增幅す
るクライストロン用モ
ジュレーター電源に、
72台の高電圧充電器と70台
のモジュレーターが採用さ
れてる。

「チコン」は電気を蓄
えるコンデンサーなどを主
に供給している。今後もさら
に充電器電源を手がけ
ており、国内14の治療
施設(建設中を含む)
のうち、8施設に納入
している。今後もさら
に開拓力を強化して、海
外を含む多くの施設への納
入を目指す。

ロームは1958年創業
の総合半導体・電子部品
メーカー。品質と信頼性に優
れたICやディスクリ
ト(個別半導体)など
を開発・製造し、民生
機器から自動車・産業
機器・医療分野にいた
るまで、幅広い分野で
システムソリューション
を提供。多様化する
顧客ニーズに的確に対
応する体制を整備して
いる。産官連携にも注力
し、特に炭化ケイ素
(SiC)パワー・デバイス
分野においては、「京都地
域」においては、「京都地
域」

有力企業の技術・サービス・戦略①

京都の連携力2014

宝酒造は環境活動の一環として「田んぼの学校」を境NPOなど多くの関係者

として「田んぼの学校」を境NPOなど多くの関係者

の連携により運営して

いるのが特徴の一つ

だ。

今日は、新たに「食

育」を専門とする京都

府立大學生命環境学部

の大谷貴美子教授の指

導する学生が参加

リコラムをサポート

される。産官連携による活

動を通して、環境活動

の大切さをアピール

していく。

同社の「田んぼの学校」

は、企業地元コミュニティ

として、行政(京都府)、環

境NPOなど多くの関係者

の連携により運営して

いるのが特徴の一つ

だ。

今日は、新たに「食

育」を専門とする京都

府立大學生命環境学部

の大谷貴美子教授の指

導する学生が参加

リコラムをサポート

される。産官連携による活

動を通して、環境活動

の大切さをアピール

していく。

同社の「田んぼの学校」

は、企業地元コミュニティ

として、行政(京都府)、環

境NPOなど多くの関係者

の連携により運営して

いるのが特徴の一つ

だ。

今日は、新たに「食

育」を専門とする京都

府立大學生命環境学部

の大谷貴美子教授の指

導する学生が参加

リコラムをサポート

される。産官連携による活

動を通して、環境活動

の大切さをアピール

していく。

同社の「田んぼの学校」

は、企業地元コミュニティ

として、行政(京都府)、環

境NPOなど多くの関係者

の連携により運営して

いるのが特徴の一つ

だ。

今日は、新たに「食

育」を専門とする京都

府立大學生命環境学部

の大谷貴美子教授の指

導する学生が参加

リコラムをサポート

される。産官連携による活

動を通して、環境活動

の大切さをアピール

していく。

同社の「田んぼの学校」

は、企業地元コミュニティ

として、行政(京都府)、環

境NPOなど多くの関係者

の連携により運営して

いるのが特徴の一つ

だ。

今日は、新たに「食

育」を専門とする京都

府立大學生命環境学部

の大谷貴美子教授の指

導する学生が参加

リコラムをサポート

される。産官連携による活

動を通して、環境活動

の大切さをアピール

していく。

同社の「田んぼの学校」

は、企業地元コミュニティ

として、行政(京都府)、環

境NPOなど多くの関係者

の連携により運営して

いるのが特徴の一つ

だ。

今日は、新たに「食

育」を専門とする京都

府立大學生命環境学部

の大谷貴美子教授の指

導する学生が参加

リコラムをサポート

される。産官連携による活

動を通して、環境活動

の大切さをアピール

していく。

同社の「田んぼの学校」

は、企業地元コミュニティ

として、行政(京都府)、環

境NPOなど多くの関係者

の連携により運営して

いるのが特徴の一つ

だ。

今日は、新たに「食

育」を専門とする京都

府立大學生命環境学部

の大谷貴美子教授の指